

村山リウ むらやま 評論家。明治二十六年四月一日香川県生まれ、平成六年六月十七日没（九〇三―九四）。大正十一年日本女子大文學部文科卒。母校の岡山縣立第一高等女學校に教職三年、昭和四年村山高に嫁し、家庭生活中「源氏物語」に親しむ。戦後新聞の身の上相談、社會時評等女性問題評論家として活動、また婦人會等の講師として「源氏物語」を語るやうになり、読売テレビで一年餘「源氏物語」を放送、大阪市民文化賞を受賞した。その現代的視野からの独自の解釋は「村山源氏」の稱がある。

著書に「源氏物語がたり」全二冊（昭和四十二年四月十日主婦の友社）等。

